

医療機器産業ビジョン

「国際競争力強化のためのアクションプラン」の進捗状況等

平成16年4月30日
厚生労働省

医療機器産業ビジョン

「国際競争力強化のためのアクションプラン」の進捗状況等

(頁)

医療機器産業ビジョン「国際競争力強化のためのアクションプラン」 の進捗状況等について	1
<u>「国際競争力強化のためのアクションプラン」の進捗状況等</u>	
(1) 研 究	2
(2) 開 発	4
(3) 生 産	6
(4) 販 売	7
(5) 使 用	8
(6) 情報化・その他	9
(参考) 政府全体・関係省庁等における取組みについて	11

医療機器産業ビジョン「国際競争力強化のための アクションプラン」の進捗状況等について

今後ますます高度化する医療への要求に応え、国民の保健医療水準の向上に貢献していくためには、最先端分野の医療機器の研究開発を進め、臨床現場へ迅速に導入することが重要である。しかしながら、我が国の医療機器産業は、グローバルな競争の激化、不十分な研究開発環境、保険医療財政悪化の影響もあり、このままでは国際競争力がさらに弱まる可能性がある。

このため、平成15年3月30日に「医療機器産業ビジョン」を策定・公表し、“より優れた”“より安全性の高い”我が国発の革新的医療機器の開発を通じて、国民のみならず世界の患者の保健医療水準の向上に貢献するよう、医療機器産業の国際競争力の強化を目指す必要があるとの認識の下、今後5年間で「イノベーション促進のための集中期間」と位置づけ、国の支援策をアクションプランとして提示したところである。

厚生労働省では、医薬品や医療機器に関する産業政策に全省的に取り組むため、平成14年12月、厚生労働事務次官を本部長とする「医薬品・医療機器産業政策推進本部」を設置し、毎年、「医療機器産業ビジョン」のアクションプランの進捗状況等を点検することとしており、今般、平成15年度末までの進捗状況等を本資料として取りまとめたところである。

今後、この進捗状況等を踏まえ、関係団体や有識者等からのヒアリングを実施するなど、国民各層からの幅広いご意見をいただいて必要な検討を行い、医療機器産業政策の一層の推進を図っていくこととしたい。